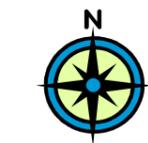


横断面図 S=1:100

# 堺路政第R00-000号 道路境界確定図

## 協議地 堺市〇区〇〇町〇丁10番

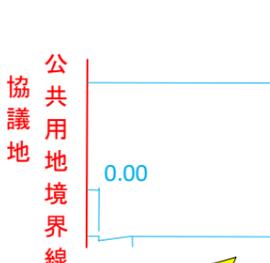
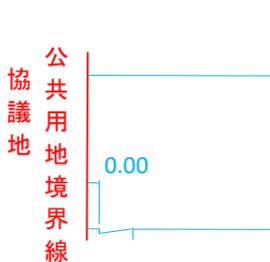
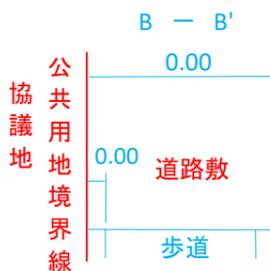
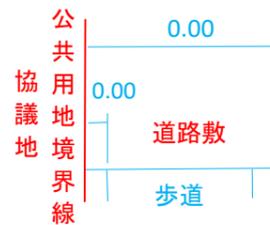


平面図 S=1:200  
凡例(○ - 境界点)  
単位:メートル

民々並びにその他の公共用地との境界については所有者(管理者)相互協議の上決定されたい。

令和〇〇年〇月〇〇日 立会  
承諾

所有地  
土地 と公共用地(道路敷)  
との境界は現地及び図面に表示  
されたとおり異議ありません。



1境界点につき2点以上の引照点からの距離を記載すること(別途表による記載も可)  
引照点との点間距離はmmまで記載

境界点が他の官公庁と同時協議の場合  
・承諾欄不用  
・境界点から引き出し、同時協議(官公庁名)と記載してください。

既確定をもって隣接承諾を省略する場合  
・承諾欄不用  
・別途 報告書が必要  
・境界点から引き出し線を出してください。

相続人が承諾する場合(相続人全員 要)

筆界確認書添付の場合

協議地 10番	土地所有者
住所	実印
氏名	
相隣地 9番	土地所有者
被相続人	〇〇 〇〇 相続人
住所	
氏名	印
相隣地 11番	土地所有者
	別紙 筆界確認書(写)添付

No	X	Y	標識
K1	-000000.000	-000000.000	金属標
K2	-000000.000	-000000.000	金属鈹
K3	-000000.000	-000000.000	刻印
K4	-000000.000	-000000.000	コンクリート杭

No	X	Y	標識
IN1	-000000.000	-000000.000	マンホール中心
IN2	-000000.000	-000000.000	集水柵角
IN3	-000000.000	-000000.000	植栽柵角
IN4	-000000.000	-000000.000	既設金属標
IN5	-000000.000	-000000.000	マンホール中心
IN6	-000000.000	-000000.000	集水柵角

幅員と協議地側の構造物の幅を記載

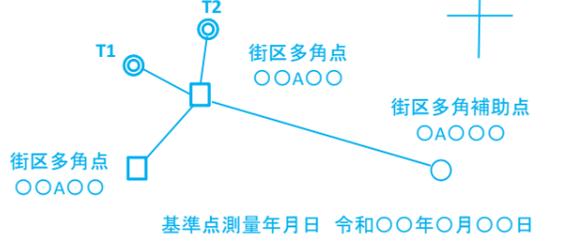
引照点は将来的に残存しやすいものを用い、かつ恒久的構造物に設置をしてください。  
【例】  
・マンホールにポンチ穴を打設する。  
・構造物上の既設金属標を用いる。  
・金属鈹を道路構造物に設置する。

公共基準点3ヶ所以上(近傍に公共基準点が存在しない場合は任意座標で可、この場合「任意座標」と表記)

既知点の名称及び座標値(世界測地系:第VI系)

名称	X	Y	標識	縮尺係数
街区多角点〇〇A〇〇	-000000.000	-000000.000	金属標	0.000000
街区多角点〇〇A〇〇	-000000.000	-000000.000	金属標	0.000000
街区多角補助点〇A〇〇〇	-000000.000	-000000.000	金属標	0.000000
多角点T1	-000000.000	-000000.000	金属鈹	
多角点T2	-000000.000	-000000.000	金属鈹	

基準点網図  
縮尺1/5000



測量年月日	令和〇〇年〇月〇〇日
作成年月日	令和〇〇年〇月〇〇日
図面作成者	堺市〇区〇〇町〇丁〇番〇号 〇〇登記測量事務所 土地家屋調査士 〇〇 〇〇 登録番号 〇〇〇〇号 TEL: 072-〇〇〇-〇〇〇〇

職印